

こども委員会よりみちコラム

今回の担当：高橋 望

書いた日：2024年1月11日

2024年が始まりました。今年もこども委員会、よりみちコラムをよろしく申し上げます。1月を担当します高橋です。はじめに、1月1日に発生した令和6年能登半島地震にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

みなさんの2023年はどんな一年でしたか？「2023年 出来事」で検索してみると、WBC14年ぶり優勝、早い桜の開花と夏の猛暑、新型コロナ「5類」移行、生成AIの活用…などなど。私はいつでもどこでも感染症対応に追われていた（ような気がする）年でした。そして前任者から引き継いだ支援学校への訪問をはじめた年でもありました。新しい場所や人との出会いはとにかく緊張するので特に最初の2回くらいは自分を奮い立たせて通いましたが、こどもたちが「また来たんだねー」と挨拶してくれたり、先生から前回相談を受けていた困りごとの経過を教えていただいたりしたことが励みになりました。

ある時先生から重症心身障害児のリハビリについておすすめの本はあるかと相談を受けたのをきっかけに、「かゆいところに手が届く 重度重複障害児教育」（ジアース教育新社）という本を読みました。主に特別支援教育現場の先生を対象に、疾患の特徴や対応のポイント、目標設定のしかたなどについて書かれています。イラストや写真が多く、関節や呼吸器官など体の構造や、それを踏まえた介助や支援の具体的な方法が丁寧に載っていて、医療的な内容もわかりやすい表現で書かれているので、先生方と話すときの参考になりました。また、学校の先生がこどもたちひとりひとりにどのように指導目標や指導内容を作成しているのかを知ることができ、こちらから何かを提案するとき配慮することの気づきにもなったと感じています。本を読むとすぐ眠くなる私ですが、実践で役立てられるように知識を身につけていきたいと思っています。

こども委員会は今年も多くの県士会員の方に特別支援教育について知っていただけるよう様々なかたちで発信していきたいと思っております！寒さが厳しくなってくる頃ですが、体調を崩さないようお過ごしください。

